

～ 自分の大切さとともに 他の人の大切さを 認めること ～

令和2年度をふり返って

3月24日は、後期の終業式および令和3年度の修了式です。今年度をふり返ってみると、常に感染拡大防止対策を講じながらの学校生活となり、例年とは全く異なる年度となりました。

手洗い・手指消毒の励行、マスク着用、フィジカル・ディスタンス、授業の途中での換気など、これらが日常の学校生活であたりまえとなっています。また、三密を避けるという感染拡大防止の観点から、学校行事の多くを中止したり、やむをえず縮小したり形式を変えたりしての実施となりました。

そのような中でも、修了式を迎えることができたのは、生徒のみなさんや先生方が授業や学校行事をあきらめずにできることを工夫して取り組んだおかげであり、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力、ご支援のおかげです。学校に関係していただいているすべての皆様に深く感謝いたします。

例年のようにできなかったことが多かったとはいえ、困難な状況の中で日々の学校生活を送ってきたからこそ、学んだことがたくさんあり、一人一人の成長につながってきていると言えます。このような経験をしてきたからこそ、今年度に学んだことをこれからの生活や進路に活かしてほしいと願っています。そのためにも、自分の目標をしっかりとをもって、気持ち新たに新学年へと進んでください。

第57回卒業証書授与式

3月12日に第57回卒業証書授与式を挙行了しました。感染拡大防止対策の観点から縮小した形で行いました。

卒業生は、この三年間での成長を示すかのような清々しい姿や態度でした。誇らしくもあり、頼もしくもありました。別れはつらいですが、新たなステージでの卒業生65名の活躍を祈念してやみません。 ※ウラに「卒業生のみなさんへ～式辞に代えて～」を載せています
「卒業生お別れの言葉」から一部を抜粋して、ご紹介します。



卒業生お別れの言葉

*一部、抜粋

在校生の皆さん。今までありがとうございました。これからきついこと、苦しいこともたくさんあると思いますが、そんなときは仲間を信じて頼ってください。そしてよりよい西中学校を築き上げていってください。
(中略)

そして共に卒業する六十四名の皆さん。私は皆さんと同級生として三年間一緒に過ごせたことがとても嬉しく、みんなのことを誇りに思います。もうこのメンバーで学校に通うことができないのだと思うと寂しいです。月曜日も今まで通り授業を受けられるのではないかと思ってしまう程、私にとって離れ難い日常でした。中には、これから何年も会うことがない人も居るかもしれませんが、「65人の全進」を心に刻み、お互いの夢に向かって頑張りましょう。

私たちは今日でこの西中学校を巣立ちますが、西中の伝統は後輩たちに受け継がれ、ますます発展していくと信じています。

最後に、私たちは自分で選んだ新たな道を強く踏みしめ、高い目標を持って邁進することを、ここに誓います。

裏面には、「修学旅行に行ってきました」を掲載していますので、ご覧ください。

ウラへ

修学旅行に行ってきました

3月15日から2泊3日をかけて、鹿児島での修学旅行に行ってきました。

1日目は、知覧特攻平和会館、知覧武家屋敷庭園を見学し、鹿児島市内のサンロイヤルホテルに泊まりました。ホテルの部屋から正面に桜島がドーンと見え、ちょうど桜島が噴火していて、噴煙が上がっていました。



2日目は、仙巖園（磯庭園）で見学をし、それから鹿児島中央駅に移動した後に、鹿児島市内での班別自主研修をしました。班別自主研修では、維新ふるさと館、天文館、いおワールド鹿児島水族館などを巡り、鹿児島の味を堪能したり、お土産を買ったりして、満喫しました。2日目の宿泊先は、霧島国際ホテルでした。霧島国際ホテルは残念ながら5月に営業を終了することが決まっており、本校が当ホテルで受け入れられる最後の修学旅行団ということでした。ホテルの方々の心のこもったおもてなしと温泉のおかげで、気持ちよく修学旅行最後の夜を過ごしました。

3日目は、霧島アートの森、霧島神宮を見学し、霧島さくらフルーツランドで昼食に焼肉を食べ、鹿児島空港でお土産を買って、学校に帰ってきました。

今回の修学旅行でとても良かったことが、「時間を守る」ということでした。私はこれまでに何度となく修学旅行の引率をしてきましたが、生徒が集合時間を守れないなどによって、宿泊先への到着が遅れたり、予定していた見学時間を縮めたりすることが多々ありました。ところが、今回は3日間の日程すべてが、予定通りまたは予定よりも早く行動することができていました。これは修学旅行団全員が時間を守らなければできないことであり、『すばらしい』の一言です。



今回の修学旅行で良かったところは、さらに磨きをかけてほしいと思います。また、一方で、決まりを守れなかったところがあるなどの課題もありました。しっかりと振り返り、今後の学校生活等でその反省を生かしてほしいと願っています。

※ 後日に旅行会社を通じて、霧島国際ホテルからメール文をいただきました。

ご宿泊いただきまして誠にありがとうございました。皆様のご出発後にお部屋に入った清掃のスタッフが感動しておりました。ごみをまとめていただいていたこと、お布団をきれいにたたまれていたこと、感謝申し上げます。そしてお忘れ物についてですが、大浴場、お食事会場を含め【ゼロ】でした。集合時間をしっかり守ることや忘れ物がないことなど、他の学校様ではなかなかなかったことです。

元気いっぱいの皆様でしたが、霧島国際ホテル最後の修学旅行が【八女市立西中学校様】であったことが私のみならずホテルスタッフ一同の大切な思い出となりました。先生方を含め皆様にとっても今回のご旅行がよい思い出となれば幸いです。霧島国際ホテルをご利用いただきありがとうございました。

(文責 木村彰男)

卒業生のみなさんへ ～式辞に代えて～

六十五名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。

真新しい制服に身を包み、中学校の門をくぐった日から三年。たくさんのことを学び、様々な経験を積み、みなさんは大きく成長しました。中学校最後の体育大会では、「赤ブロックが勝とうとも、青ブロックが勝とうとも、全校生徒、笑顔で終われる体育大会にします」の選手宣誓の言葉通りに、最上級生として学校全体を盛り上げ、体育大会を成功に導いてくれました。そして、卒業生一人一人の輝きは、たくさん元気と感動を与えてくれました。本当にありがとう。

旅立ちを迎えたみなさんに伝えたいことは、想像することを大事にするともに、想像力を鍛えてほしいということです。想像は、創造を生み出します。自立歩行ロボット、自動運転車、様々な情報機器や端末など、スタートは人による想像からです。そして、進歩しているAIでもとって代わることができないのが、想像力です。また、想像することは、自分の世界を広げたり、豊かにしたりします。実際に経験できないことや、時空を超えて想像するなどがあり、読書などはその想像を助けてくれます。さらに、想像することは、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることにもつながります。自分を支えてくれている人の思いやその姿に気づいたり、多様性を認めたり、コミュニケーションを豊かにしたりします。一人一人進む道は違いますが、それぞれのステージでの西中の仲間の頑張りを想像し、励みにしてほしいと願います。

西中学校での思い出と学びを胸に、自分の力を信じて、新たな人生の一步を踏み出してください。みなさんの限りない可能性と、輝く未来を祈念いたします。そして、いつも応援しています。

令和三年三月十二日 八女市立西中学校長 木村 彰男